

年度の締めくくりに向けて

—春はもうそこまで—



2月を迎え、令和6年度も残すところ2か月足らずとなりました。まだ暫くは、寒い日が続きそうですが、暦の上では、2月2日（日）が節分、3日（月）が立春です。これからは、三寒四温をくり返しながら、少しずつ暖かくなることだと思います。また、陽の光がまぶしくなり、校庭の桜の木の芽も少しずつ膨らみ始めているようです。季節は着実に春に向かっていくのを感じます。

さて、子どもたちは、毎日寒さに負けず元気に学校生活を送っています。体育の時間ももちろんのこと、始業前や業間休み、昼休みには、子どもたちが運動場や中庭で、元気に走り回っている姿を見かけたり、楽しそうな笑い声が聞こえてきたりします。また、縄跳びを使った体力づくりでは、縄跳び検定表をもとにして、個人の記録更新や、学年ごとに「縄跳び集会」に向けて「長縄跳び」の練習に頑張っています。

一方、学習や生活面では、これからの2か月間は、まとめや振り返り等を通して、1年の締めくくりを行ってまいります。

2月5日（水）は、参観日です。今回が今年度の最後の授業参観になります。授業参観後には、トップアスリート講演会、金管バンドミニコンサートが予定されています。保護者の皆様方におかれましては、ご多用中のところですが、よろしくお願いいたします。

この冬も、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ等の感染症も流行しています。引き続き、感染症対策に関しましても、保護者の皆様方のご協力をお願いいたします。

楽焼き

先週1月29日（水）寒風吹きすさぶ中でしたが、全学年児童が思い思いの色付けをして焼成してできあがりしました。個々の素晴らしい作品は、参観日にご覧になってください。



ありがとうございました。

地域の方々やほたるクラブの皆さんが、正門周辺の樹木の剪定をしてくださいました。大変お世話になりました。

